通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
－イーグルアイⅡ－
予想分配金提示型
日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第32期（決算日　2021年８月30日）
第33期（決算日　2021年11月29日）
（作成対象期間　2021年５月29日～2021年11月29日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年８月20日～2023年８月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」（以下「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※１）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・レアル・コース」の場合……ブラジル・レアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ．およびロ．に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ．計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ．計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。 ａ．10,500円以上11,000円未満の場合…300円 ｂ．11,000円以上11,500円未満の場合…350円 ｃ．11,500円以上12,000円未満の場合…400円 ｄ．12,000円以上12,500円未満の場合…450円 ｅ．12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

◇SUZ0577020211129◇

日本円・コース

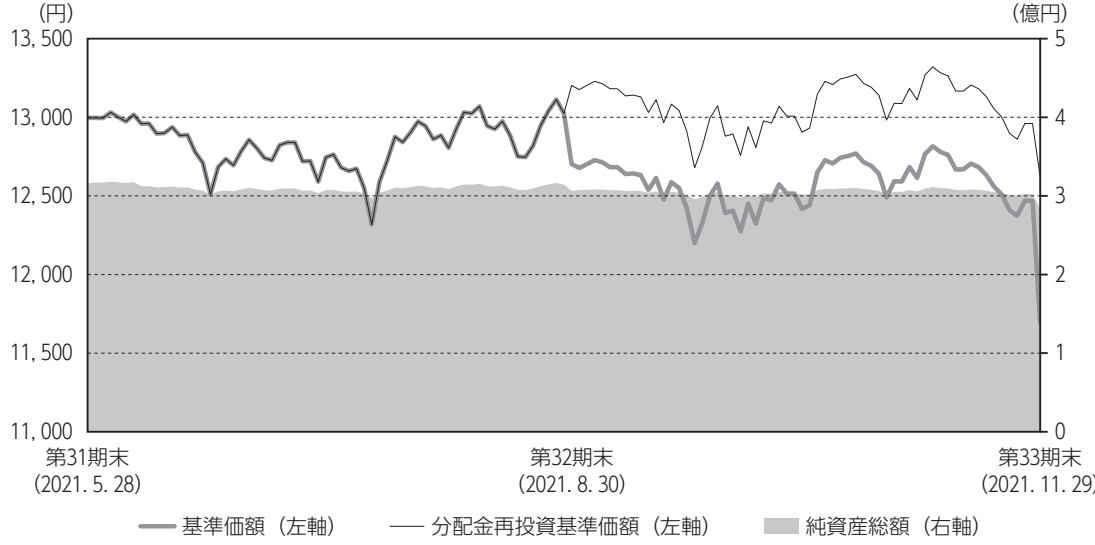
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末（2019年８月28日）	9,640	0	△ 2.1	17,430	1.5	—	95.4	311
25期末（2019年11月28日）	10,481	300	11.8	19,159	9.9	—	94.1	318
26期末（2020年２月28日）	9,862	0	△ 5.9	18,096	△ 5.5	—	93.7	275
27期末（2020年５月28日）	9,592	0	△ 2.7	18,445	1.9	—	98.0	261
28期末（2020年８月28日）	10,385	300	11.4	21,169	14.8	—	98.9	283
29期末（2020年11月30日）	11,320	400	12.9	22,103	4.4	—	98.0	285
30期末（2021年３月１日）	11,986	500	10.3	23,153	4.7	—	98.8	297
31期末（2021年５月28日）	12,996	500	12.6	25,521	10.2	—	98.8	315
32期末（2021年８月30日）	12,703	500	1.6	27,395	7.3	—	98.8	306
33期末（2021年11月29日）	11,692	450	△ 4.4	27,913	1.9	—	98.4	283

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第32期首：12,996円
第33期末：11,692円（既払分配金950円）
騰 落 率：△2.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況は上昇しましたが、保有株式が相対的に軟調に推移したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第32期	(期首)2021年5月28日	12,996	—	25,521	—	—	98.8
	5月末	12,996	0.0	25,540	0.1	—	98.4
	6月末	12,741	△ 2.0	26,073	2.2	—	99.0
	7月末	12,973	△ 0.2	26,847	5.2	—	99.1
	(期末)2021年8月30日	13,203	1.6	27,395	7.3	—	98.8
第33期	(期首)2021年8月30日	12,703	—	27,395	—	—	98.8
	8月末	12,677	△ 0.2	27,513	0.4	—	98.4
	9月末	12,406	△ 2.3	26,484	△ 3.3	—	98.8
	10月末	12,593	△ 0.9	27,924	1.9	—	99.0
	(期末)2021年11月29日	12,142	△ 4.4	27,913	1.9	—	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年９月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、９月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、ＣＰＩ（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■短期金利市況

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

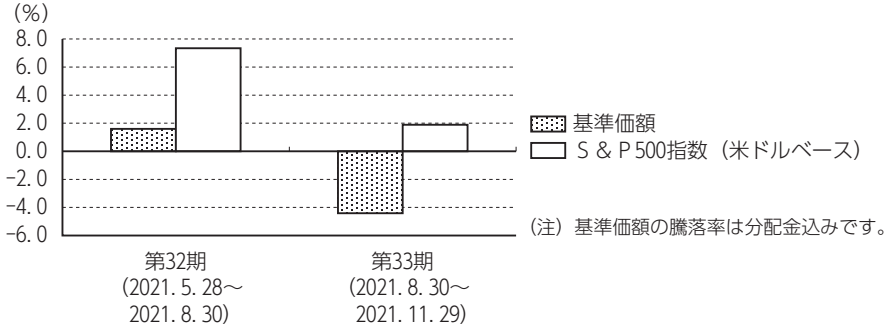
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、FISERV（情報技術）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第32期 2021年５月29日 ～2021年８月30日	第33期 2021年８月31日 ～2021年11月29日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**500**	**450**
対基準価額比率	(%)	3.79	3.71
当期の収益	(円)	207	—
当期の収益以外	(円)	292	450
翌期繰越分配対象額	(円)	2,884	2,434

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第32期		第33期	
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓	14. 24円		0. 00円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	✓	193. 18		0. 00
（ｃ）収益調整金		289. 09		310. 22
（ｄ）分配準備積立金	✓	2, 887. 80	✓	2, 574. 10
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）		3, 384. 32		2, 884. 32
（ｆ）分配金		500. 00		450. 00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）		2, 884. 32		2, 434. 32

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

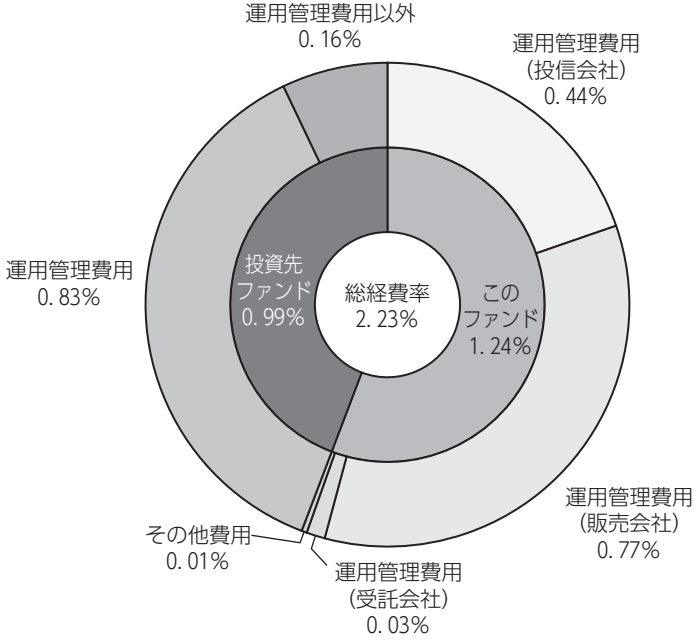
項　　目	第32期～第33期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	80円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は12, 701円です。**
(投 信 会 社)	(28)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	80	0. 631	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.23%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

決　算　期	第　32　期　～　第　33　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	12.42478	2,823	123.92441	28,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

第　32　期　～　第　33　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	8.80533	2,000	227	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	123.92441	28,000	225

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　33　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	1,272.46888	279,340	98.4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第31期末	第　33　期　末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項　　目	第　33　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	279,340	94.5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	16,029	5.4
投資信託財産総額	295,669	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年８月30日）、（2021年11月29日）現在

項　　目	第32期末	第33期末
（A）資産	**319, 573, 459円**	**295, 669, 681円**
コール・ローン等	16, 290, 035	16, 029, 195
投資信託受益証券（評価額）	302, 982, 911	279, 340, 003
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300, 513	300, 483
（B）負債	**13, 058, 909**	**11, 875, 931**
未払収益分配金	12, 064, 675	10, 922, 211
未払信託報酬	987, 692	940, 951
その他未払費用	6, 542	12, 769
（C）純資産総額（A－B）	**306, 514, 550**	**283, 793, 750**
元本	241, 293, 516	242, 715, 822
次期繰越損益金	65, 221, 034	41, 077, 928
（D）受益権総口数	**241, 293, 516口**	**242, 715, 822口**
1万口当り基準価額（C／D）	**12, 703円**	**11, 692円**

＊第31期末における元本額は243, 022, 593円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は3, 267, 757円、同解約元本額は3, 574, 528円です。
＊第33期末の計算口数当りの純資産額は11, 692円です。

■損益の状況

第32期　自 2021年５月29日　至 2021年８月30日
第33期　自 2021年８月31日　至 2021年11月29日

項　　目	第32期	第33期
（A）配当等収益	**412, 163円**	**410, 221円**
受取配当金	412, 538	410, 525
受取利息	6	4
支払利息	△ 381	△ 308
（B）有価証券売買損益	**5, 587, 256**	**△ 13, 054, 065**
売買益	5, 593, 631	73
売買損	△ 6, 375	△ 13, 054, 138
（C）信託報酬等	**△ 994, 234**	**△ 947, 178**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**5, 005, 185**	**△ 13, 591, 022**
（E）前期繰越損益金	**69, 680, 801**	**62, 477, 504**
（F）追加信託差損益金	**2, 599, 723**	**3, 113, 657**
（配当等相当額）	(6, 975, 568)	(7, 529, 605)
（売買損益相当額）	(△ 4, 375, 845)	(△ 4, 415, 948)
（G）合計（D＋E＋F）	**77, 285, 709**	**52, 000, 139**
（H）収益分配金	**△ 12, 064, 675**	**△ 10, 922, 211**
次期繰越損益金（G＋H）	**65, 221, 034**	**41, 077, 928**
追加信託差損益金	2, 599, 723	3, 113, 657
（配当等相当額）	(6, 975, 568)	(7, 529, 605)
（売買損益相当額）	(△ 4, 375, 845)	(△ 4, 415, 948)
分配準備積立金	62, 621, 311	51, 555, 293
繰越損益金	—	△ 13, 591, 022

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第32期	第33期
（a）経費控除後の配当等収益	343, 840円	0円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	4, 661, 345	0
（c）収益調整金	6, 975, 568	7, 529, 605
（d）分配準備積立金	69, 680, 801	62, 477, 504
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	81, 661, 554	70, 007, 109
（f）分配金	12, 064, 675	10, 922, 211
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	69, 596, 879	59, 084, 898
（h）受益権総口数	241, 293, 516口	242, 715, 822口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ		
1　万　口　当　り　分　配　金	第32期	第33期
	500円	450円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース

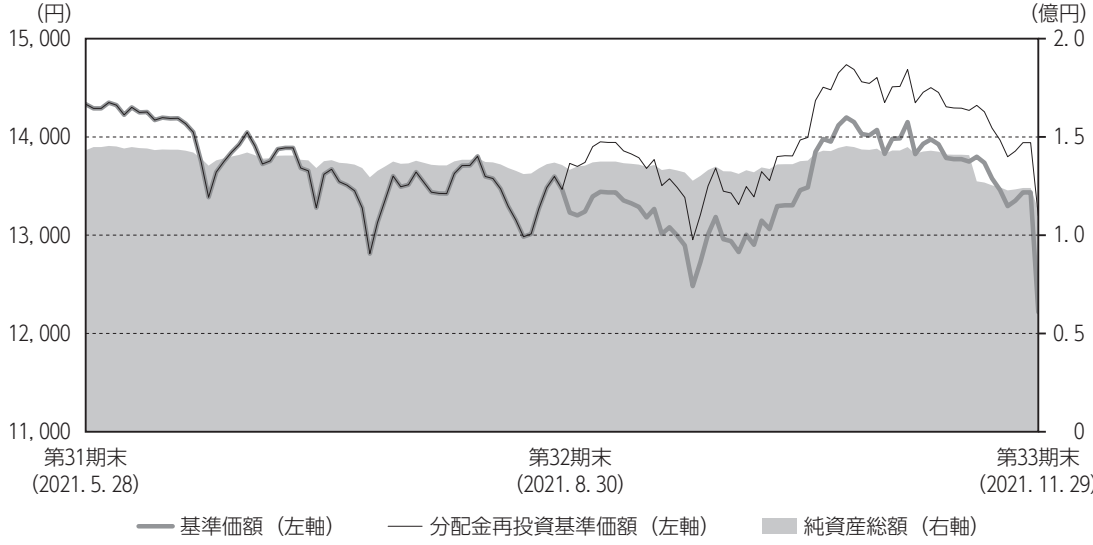
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数(米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
24期末(2019年8月28日)	8,601	0	△ 7.1	17,430	1.5	71.38	△ 5.9	—	98.5	144
25期末(2019年11月28日)	9,985	0	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	—	95.4	145
26期末(2020年2月28日)	9,160	0	△ 8.3	18,096	△ 5.5	71.94	△ 2.8	—	94.2	121
27期末(2020年5月28日)	8,612	0	△ 6.0	18,445	1.9	71.54	△ 0.6	—	99.0	114
28期末(2020年8月28日)	10,362	0	20.3	21,169	14.8	77.44	8.2	—	95.8	133
29期末(2020年11月30日)	11,261	400	12.5	22,103	4.4	76.91	△ 0.7	—	98.4	117
30期末(2021年3月1日)	12,793	500	18.0	23,153	4.7	82.49	7.3	—	98.8	125
31期末(2021年5月28日)	14,333	500	15.9	25,521	10.2	85.08	3.1	—	99.0	143
32期末(2021年8月30日)	13,231	500	△ 4.2	27,395	7.3	80.25	△ 5.7	—	98.3	133
33期末(2021年11月29日)	12,218	500	△ 3.9	27,913	1.9	81.19	1.2	—	98.7	112

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第32期首：14,333円
第33期末：12,218円（既払分配金1,000円）
騰 落 率：△7.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

保有株式が軟調に推移したことや豪ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第32期	(期首)2021年5月28日	14,333	—	25,521	—	85.08	—	—	99.0
	5月末	14,290	△ 0.3	25,540	0.1	84.58	△ 0.6	—	97.6
	6月末	13,724	△ 4.2	26,073	2.2	83.12	△ 2.3	—	98.5
	7月末	13,643	△ 4.8	26,847	5.2	80.86	△ 5.0	—	98.7
	(期末)2021年8月30日	13,731	△ 4.2	27,395	7.3	80.25	△ 5.7	—	98.3
第33期	(期首)2021年8月30日	13,231	—	27,395	—	80.25	—	—	98.3
	8月末	13,202	△ 0.2	27,513	0.4	80.18	△ 0.1	—	96.9
	9月末	12,940	△ 2.2	26,484	△ 3.3	80.46	0.3	—	99.1
	10月末	13,981	5.7	27,924	1.9	85.59	6.7	—	99.3
	(期末)2021年11月29日	12,718	△ 3.9	27,913	1.9	81.19	1.2	—	98.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年９月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、９月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、ＣＰＩ（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首より2021年８月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大懸念に加え、中国経済の減速懸念などから対円で下落しました。その後、エネルギー価格の上昇やオーストラリアの４－６月期ＧＤＰ（国内総生産）が予想を上回る結果だったことなどが材料視されて対円で上昇（円安）したものの、11月以降はウイルスの新たな変異株への懸念などから市場のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落しました。

■短期金利市況

ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を0. 10％で据え置きました。
米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－

ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

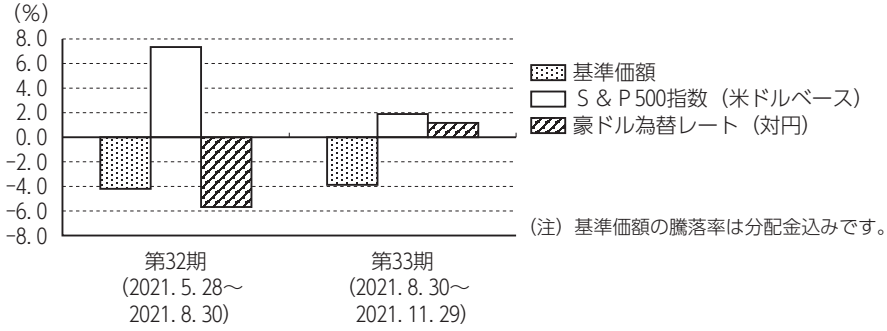
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、FISERV（情報技術）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第32期 2021年５月29日 ～2021年８月30日	第33期 2021年８月31日 ～2021年11月29日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**500**	**500**
対基準価額比率	(%)	3.64	3.93
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	500	500
翌期繰越分配対象額	(円)	4,214	3,714

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第32期	第33期
（ａ）経費控除後の配当等収益	0.00円	0.00円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	614.95	671.36
（ｄ）分配準備積立金	✓ 4,099.07	✓ 3,542.66
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	4,714.03	4,214.03
（ｆ）分配金	500.00	500.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	4,214.03	3,714.03

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

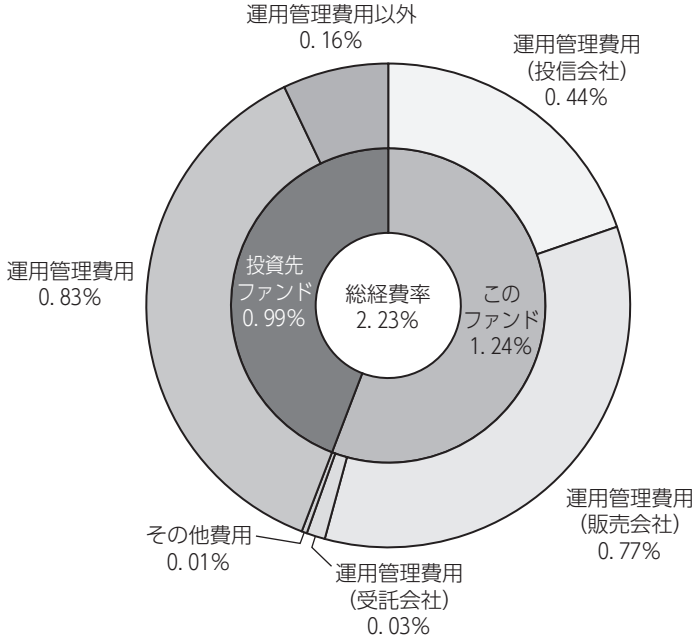
項　　目	第32期～第33期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	85円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は13, 576円です。**
（投 信 会 社）	(30)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(53)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	86	0. 631	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.23%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

決　算　期	第　32　期　～　第　33　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	22.91984	4,402	129.59599	25,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

第　32　期　～　第　33　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	20.80182	4,000	192	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	129.59599	25,000	192

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　33　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	615.31911	111,304	98.7

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第31期末	第　33　期　末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	200	200	201

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項　目	第　33　期　末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	111,304	94.4
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	201	0.2
コール・ローン等、その他	6,351	5.4
投資信託財産総額	117,857	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年８月30日）、（2021年11月29日）現在

項　　目	第32期末	第33期末
（A）資産	**138, 783, 261円**	**117, 857, 160円**
コール・ローン等	7, 482, 018	6, 351, 701
投資信託受益証券（評価額）	131, 100, 222	111, 304, 458
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	201, 021	201, 001
（B）負債	**5, 481, 042**	**5, 041, 299**
未払収益分配金	5, 037, 418	4, 616, 664
未払信託報酬	440, 735	418, 996
その他未払費用	2, 889	5, 639
（C）純資産総額（A－B）	**133, 302, 219**	**112, 815, 861**
元本	100, 748, 370	92, 333, 286
次期繰越損益金	32, 553, 849	20, 482, 575
（D）受益権総口数	**100, 748, 370口**	**92, 333, 286口**
１万口当り基準価額（C／D）	**13, 231円**	**12, 218円**

＊第31期末における元本額は99, 946, 446円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は3, 088, 781円、同解約元本額は10, 701, 941円です。
＊第33期末の計算口数当りの純資産額は12, 218円です。

■損益の状況

第32期　自 2021年５月29日　至 2021年８月30日
第33期　自 2021年８月31日　至 2021年11月29日

項　　目	第32期	第33期
（A）配当等収益	**217, 938円**	**184, 181円**
受取配当金	218, 138	184, 260
受取利息	3	8
支払利息	△ 203	△ 87
（B）有価証券売買損益	**△ 5, 828, 718**	**△ 4, 499, 613**
売買益	38, 845	624, 977
売買損	△ 5, 867, 563	△ 5, 124, 590
（C）信託報酬等	**△ 443, 624**	**△ 421, 746**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 6, 054, 404**	**△ 4, 737, 178**
（E）前期繰越損益金	**41, 297, 562**	**27, 248, 852**
（F）追加信託差損益金	**2, 348, 109**	**2, 587, 565**
（配当等相当額）	(6, 195, 570)	(6, 198, 962)
（売買損益相当額）	(△ 3, 847, 461)	(△ 3, 611, 397)
（G）合計（D＋E＋F）	**37, 591, 267**	**25, 099, 239**
（H）収益分配金	**△ 5, 037, 418**	**△ 4, 616, 664**
次期繰越損益金（G＋H）	**32, 553, 849**	**20, 482, 575**
追加信託差損益金	2, 348, 109	2, 587, 565
（配当等相当額）	(6, 195, 570)	(6, 198, 962)
（売買損益相当額）	(△ 3, 847, 461)	(△ 3, 611, 397)
分配準備積立金	36, 260, 144	28, 093, 918
繰越損益金	△ 6, 054, 404	△ 10, 198, 908

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第32期	第33期
（a）経費控除後の配当等収益	0円	0円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	6, 195, 570	6, 198, 962
（d）分配準備積立金	41, 297, 562	32, 710, 582
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	47, 493, 132	38, 909, 544
（f）分配金	5, 037, 418	4, 616, 664
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	42, 455, 714	34, 292, 880
（h）受益権総口数	100, 748, 370口	92, 333, 286口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ		
1　万　口　当　り　分　配　金	第32期	第33期
	500円	500円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・レアル・コース

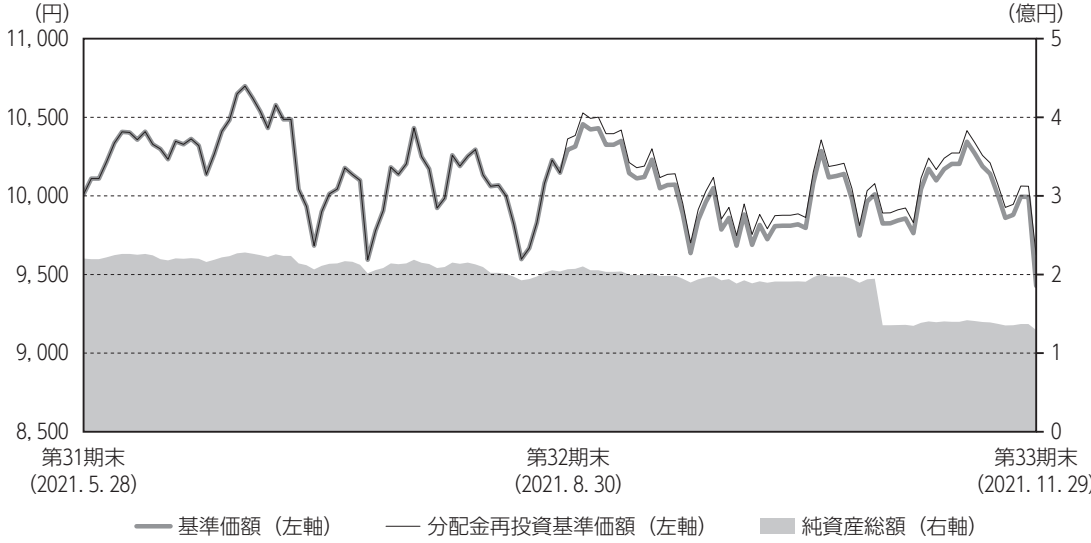
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
24期末（2019年8月28日）	7,711	40	△ 6.9	17,430	1.5	25.59	△ 5.6	—	97.1	236
25期末（2019年11月28日）	8,788	40	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6	292
26期末（2020年2月28日）	7,926	20	△ 9.6	18,096	△ 5.5	24.36	△ 5.1	—	98.5	231
27期末（2020年5月28日）	6,278	30	△ 20.4	18,445	1.9	20.46	△ 16.0	—	98.4	175
28期末（2020年8月28日）	6,554	10	4.6	21,169	14.8	19.15	△ 6.4	—	98.9	165
29期末（2020年11月30日）	7,542	0	15.1	22,103	4.4	19.46	1.6	—	98.9	184
30期末（2021年3月1日）	8,158	0	8.2	23,153	4.7	19.01	△ 2.3	—	98.9	188
31期末（2021年5月28日）	10,010	30	23.1	25,521	10.2	20.9861	10.4	—	97.4	220
32期末（2021年8月30日）	10,293	70	3.5	27,395	7.3	21.0814	0.5	—	96.6	206
33期末（2021年11月29日）	9,428	130	△ 7.1	27,913	1.9	20.3020	△ 3.7	—	97.1	129

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第32期首：10,010円
第33期末： 9,428円（既払分配金200円）
騰 落 率：△3.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

保有株式が軟調に推移したことやブラジル・レアルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第32期	（期首）2021年5月28日	10,010	—	25,521	—	20.9861	—	—	97.4
	5月末	10,110	1.0	25,540	0.1	21.0085	0.1	—	98.7
	6月末	10,538	5.3	26,073	2.2	22.3036	6.3	—	98.9
	7月末	10,432	4.2	26,847	5.2	21.5465	2.7	—	99.2
	（期末）2021年8月30日	10,363	3.5	27,395	7.3	21.0814	0.5	—	96.6
第33期	（期首）2021年8月30日	10,293	—	27,395	—	21.0814	—	—	96.6
	8月末	10,314	0.2	27,513	0.4	21.1927	0.5	—	98.0
	9月末	9,860	△4.2	26,484	△3.3	20.6682	△2.0	—	97.6
	10月末	9,826	△4.5	27,924	1.9	20.1435	△4.4	—	99.7
	（期末）2021年11月29日	9,558	△7.1	27,913	1.9	20.3020	△3.7	—	97.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年９月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、９月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、ＣＰＩ（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

ブラジル・レアル対円為替相場は、当作成期首から上昇（円安）して始まりましたが、2021年８月中旬にかけて、新型コロナウイルス変異株の世界的な流行を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことから、対円で下落しました。８月下旬以降は、米国株式市場が堅調に推移したことから市場のリスク選好姿勢が強まり対円で上昇する局面もありましたが、インフレ率が市場予想を上振れたことなどを背景に、対円でおおむね横ばいとなりました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行は2021年３月以降利上げを実施し、ブラジルの短期金利は上昇基調となりました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

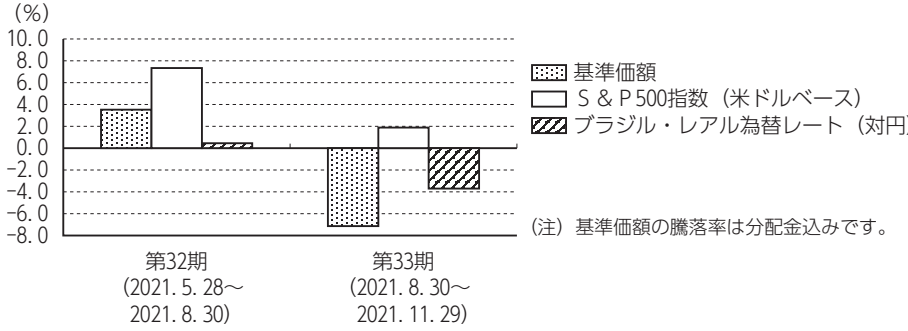
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、FISERV（情報技術）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第32期 2021年５月29日 ～2021年８月30日	第33期 2021年８月31日 ～2021年11月29日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**70**	**130**
対基準価額比率	(%)	0.68	1.36
当期の収益	(円)	70	130
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,256	3,266

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第32期	第33期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓　108.67円	✓　140.00円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	2,090.83	2,092.15
（ｄ）分配準備積立金	1,126.53	1,163.92
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	3,326.04	3,396.09
（ｆ）分配金	70.00	130.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	3,256.04	3,266.09

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

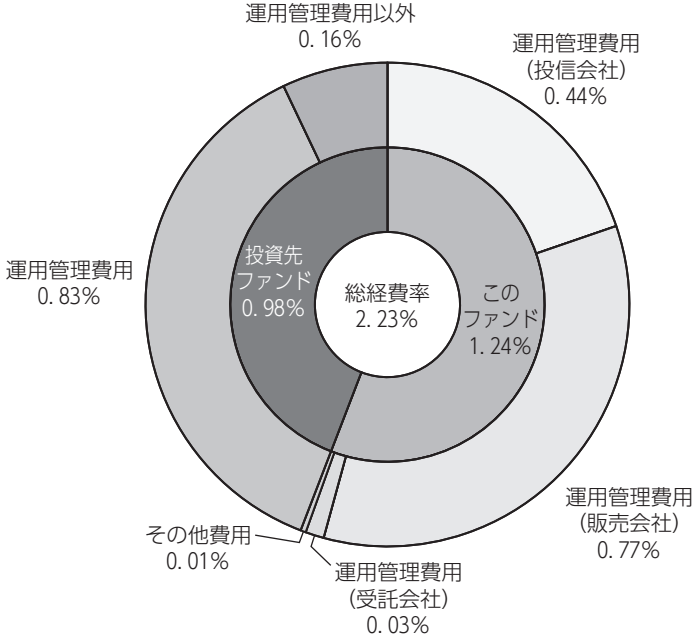
項　　目	第32期～第33期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	63円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 101円です。**
(投 信 会 社)	(23)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	64	0. 631	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.23%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

決　算　期	第　32　期　～　第　33　期			
	買　　付		売　　付	
	□　数	金　額	□　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	81.6299	7,860	931.96096	89,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

第　32　期　～　第　33　期							
買　付				売　付			
銘　柄	□　数	金　額	平均単価	銘　柄	□　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS（ケイマン諸島）	30.66325	3,000	97	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS（ケイマン諸島）	931.96096	89,000	95

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　33　期　末		
	□　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	1,407.50862	125,561	97.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第31期末	第　33　期　末	
	□　数	□　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項　目	第　33　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	125,561	95.4
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0.2
コール・ローン等、その他	5,726	4.4
投資信託財産総額	131,588	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年８月30日）、（2021年11月29日）現在

項　　目	第32期末	第33期末
（A）資産	**208, 818, 795円**	**131, 588, 180円**
コール・ローン等	8, 791, 042	5, 726, 669
投資信託受益証券（評価額）	199, 727, 240	125, 561, 028
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300, 513	300, 483
（B）負債	**2, 094, 558**	**2, 332, 630**
未払収益分配金	1, 405, 943	1, 782, 223
未払信託報酬	684, 103	542, 330
その他未払費用	4, 512	8, 077
（C）純資産総額（A－B）	**206, 724, 237**	**129, 255, 550**
元本	200, 849, 050	137, 094, 138
次期繰越損益金	5, 875, 187	△ 7, 838, 588
（D）受益権総口数	**200, 849, 050口**	**137, 094, 138口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10, 293円**	**9, 428円**

＊第31期末における元本額は220, 207, 287円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は594, 769円、同解約元本額は83, 707, 918円です。
＊第33期末の計算口数当りの純資産額は9, 428円です。
＊第33期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7, 838, 588円です。

■損益の状況

第32期　自 2021年５月29日　至 2021年８月30日
第33期　自 2021年８月31日　至 2021年11月29日

項　　目	第32期	第33期
（A）配当等収益	**2, 395, 031円**	**2, 465, 281円**
受取配当金	2, 395, 273	2, 465, 505
受取利息	14	33
支払利息	△ 256	△ 257
（B）有価証券売買損益	**5, 373, 102**	**△ 11, 984, 565**
売買益	5, 696, 512	1, 171, 335
売買損	△ 323, 410	△ 13, 155, 900
（C）信託報酬等	**△ 688, 615**	**△ 545, 895**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**7, 079, 518**	**△ 10, 065, 179**
（E）前期繰越損益金	**559, 111**	**4, 249, 582**
（F）追加信託差損益金	**△ 357, 499**	**△ 240, 768**
（配当等相当額）	(41, 994, 250)	(28, 682, 264)
（売買損益相当額）	(△ 42, 351, 749)	(△ 28, 923, 032)
（G）合計（D＋E＋F）	**7, 281, 130**	**△ 6, 056, 365**
（H）収益分配金	**△ 1, 405, 943**	**△ 1, 782, 223**
次期繰越損益金（G＋H）	**5, 875, 187**	**△ 7, 838, 588**
追加信託差損益金	△ 357, 499	△ 240, 768
（配当等相当額）	(41, 994, 250)	(28, 682, 264)
（売買損益相当額）	(△ 42, 351, 749)	(△ 28, 923, 032)
分配準備積立金	23, 403, 153	16, 093, 936
繰越損益金	△ 17, 170, 467	△ 23, 691, 756

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第32期	第33期
（a）経費控除後の配当等収益	2, 182, 712円	1, 919, 374円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	41, 994, 250	28, 682, 264
（d）分配準備積立金	22, 626, 384	15, 956, 785
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	66, 803, 346	46, 558, 423
（f）分配金	1, 405, 943	1, 782, 223
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	65, 397, 403	44, 776, 200
（h）受益権総口数	200, 849, 050口	137, 094, 138口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第32期	第33期
	70円	130円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース

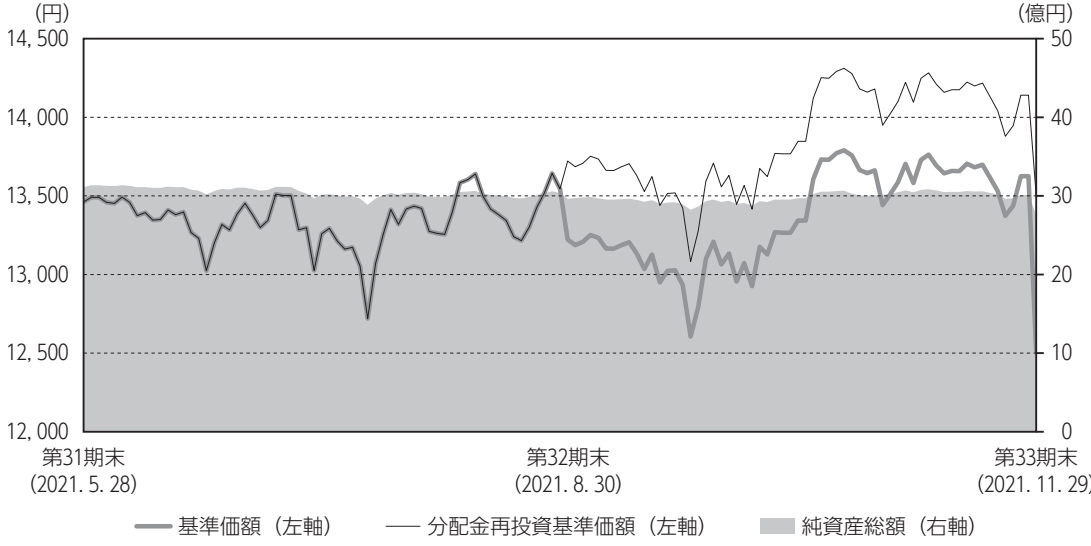
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末（2019年８月28日）	9,646	0	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9	3,091
25期末（2019年11月28日）	10,852	350	16.1	21,449	13.7	—	98.1	3,230
26期末（2020年２月28日）	10,008	300	△ 5.0	20,267	△ 5.5	—	97.1	2,799
27期末（2020年５月28日）	9,612	0	△ 4.0	20,372	0.5	—	99.0	2,605
28期末（2020年８月28日）	10,306	300	10.3	23,108	13.4	—	99.0	2,665
29期末（2020年11月30日）	11,064	350	10.8	23,501	1.7	—	98.3	2,868
30期末（2021年３月１日）	12,023	500	13.2	25,234	7.4	—	99.1	2,941
31期末（2021年５月28日）	13,462	500	16.1	28,723	13.8	—	99.0	3,110
32期末（2021年８月30日）	13,222	500	1.9	30,768	7.1	—	99.0	2,962
33期末（2021年11月29日）	12,510	500	△ 1.6	32,501	5.6	—	99.0	2,765

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（円換算）は、Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第32期首：13,462円
第33期末：12,510円（既払分配金1,000円）
騰　落　率：0.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

為替相場において円安米ドル高に推移したことはプラス要因となりましたが、保有株式が軟調に推移したことなどから、基準価額はほぼ変わらずとなりました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(円換算)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第32期	(期首)2021年5月28日	13,462	—	28,723	—	—	99.0
	5月末	13,491	0.2	28,690	△ 0.1	—	98.5
	6月末	13,299	△ 1.2	29,507	2.7	—	99.0
	7月末	13,435	△ 0.2	30,084	4.7	—	98.5
	(期末)2021年8月30日	13,722	1.9	30,768	7.1	—	99.0
第33期	(期首)2021年8月30日	13,222	—	30,768	—	—	99.0
	8月末	13,187	△ 0.3	30,945	0.6	—	98.3
	9月末	13,134	△ 0.7	30,336	△ 1.4	—	99.3
	10月末	13,512	2.2	32,485	5.6	—	98.9
	(期末)2021年11月29日	13,010	△ 1.6	32,501	5.6	—	99.0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年９月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、９月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、ＣＰＩ（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■為替相場

米ドル為替相場は、当作成期を通して見ると対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中で、世界経済への楽観的な見方が強まったことが円安要因となり、米ドルは上昇しました。2021年７月以降は、新規感染者数の増加を受けた景気への懸念や米国金利の低下などから、米ドルは小幅に下落（円高）しました。しかし９月には、利上げ観測の高まりなどから米ドルは上昇しました。10月以降も、日米金融政策の方向性の違いを要因として、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的に

キャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

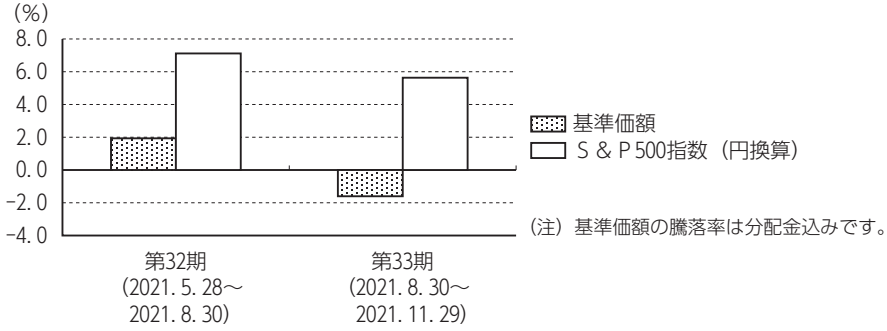
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、FISERV（情報技術）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）などを高位で組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第32期 2021年５月29日 ～2021年８月30日	第33期 2021年８月31日 ～2021年11月29日
当期分配金（税込み）	**（円）**	**500**	**500**
対基準価額比率	（%）	3.64	3.84
当期の収益	（円）	260	—
当期の収益以外	（円）	239	500
翌期繰越分配対象額	（円）	3,335	2,835

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第32期	第33期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 19. 75円	0. 00円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 241. 13	0. 00
（ｃ）収益調整金	497. 92	572. 64
（ｄ）分配準備積立金	✓ 3, 076. 26	✓ 2, 762. 42
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	3, 835. 07	3, 335. 07
（ｆ）分配金	500. 00	500. 00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	3, 335. 07	2, 835. 07

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

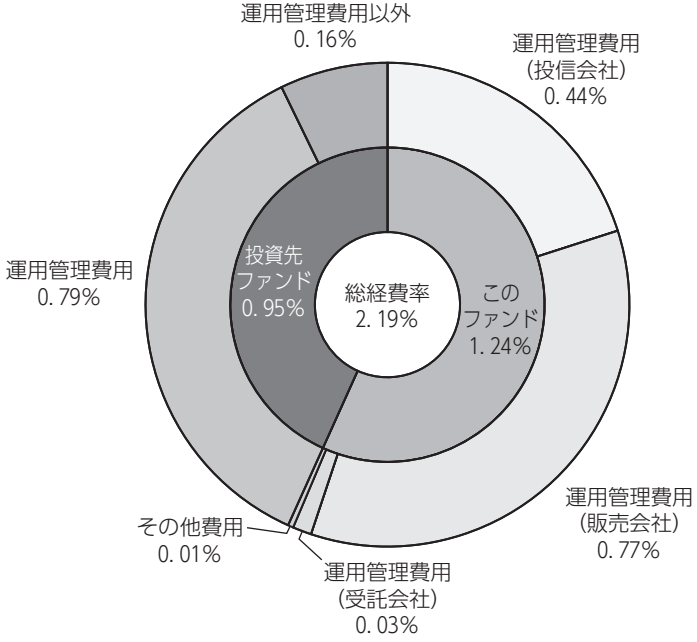
項　　目	第32期～第33期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	84円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は13, 350円です。**
(投 信 会 社)	(30)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	84	0. 631	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.19%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

決　算　期	第　32　期　～　第　33　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	297. 58821	80, 227	1, 662. 76886	443, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

第　32　期　～　第　33　期							
買　付				売　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	259. 3165	70, 000	269	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	1, 662. 76886	443, 000	266

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　33　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	10, 449. 29872	2, 736, 545	99. 0

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第31期末	第　33　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1, 999	1, 999	2, 000

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項　　目	第　33　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	2, 736, 545	94. 9
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2, 000	0. 1
コール・ローン等、その他	146, 336	5. 0
投資信託財産総額	2, 884, 882	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年８月30日）、（2021年11月29日）現在

項　　目	第32期末	第33期末
（A）資産	**3, 087, 050, 463円**	**2, 884, 882, 803円**
コール・ローン等	151, 130, 433	146, 336, 284
投資信託受益証券（評価額）	2, 933, 919, 254	2, 736, 545, 943
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	2, 000, 776	2, 000, 576
（B）負債	**124, 408, 261**	**119, 839, 574**
未払収益分配金	112, 031, 617	110, 513, 353
未払解約金	2, 600, 518	—
未払信託報酬	9, 711, 432	9, 200, 237
その他未払費用	64, 694	125, 984
（C）純資産総額（A－B）	**2, 962, 642, 202**	**2, 765, 043, 229**
元本	2, 240, 632, 353	2, 210, 267, 067
次期繰越損益金	722, 009, 849	554, 776, 162
（D）受益権総口数	**2, 240, 632, 353口**	**2, 210, 267, 067口**
1万口当り基準価額（C／D）	**13, 222円**	**12, 510円**

＊第31期末における元本額は2, 310, 765, 463円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は77, 485, 004円、同解約元本額は177, 983, 400円です。
＊第33期末の計算口数当りの純資産額は12, 510円です。

■損益の状況

第32期　自 2021年５月29日　至 2021年８月30日
第33期　自 2021年８月31日　至 2021年11月29日

項　　目	第32期	第33期
（A）配当等収益	**5, 166, 195円**	**5, 054, 872円**
受取配当金	5, 169, 966	5, 057, 620
受取利息	153	80
支払利息	△ 3, 924	△ 2, 828
（B）有価証券売買損益	**63, 064, 989**	**△ 44, 512, 300**
売買益	63, 786, 385	4, 849, 770
売買損	△ 721, 396	△ 49, 362, 070
（C）信託報酬等	**△ 9, 776, 126**	**△ 9, 261, 527**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**58, 455, 058**	**△ 48, 718, 955**
（E）前期繰越損益金	**689, 277, 611**	**610, 569, 955**
（F）追加信託差損益金	**86, 308, 797**	**103, 438, 515**
（配当等相当額）	(111, 566, 640)	(126, 570, 057)
（売買損益相当額）	(△ 25, 257, 843)	(△ 23, 131, 542)
（G）合計（D＋E＋F）	**834, 041, 466**	**665, 289, 515**
（H）収益分配金	**△ 112, 031, 617**	**△ 110, 513, 353**
次期繰越損益金（G＋H）	**722, 009, 849**	**554, 776, 162**
追加信託差損益金	86, 308, 797	103, 438, 515
（配当等相当額）	(111, 566, 640)	(126, 570, 057)
（売買損益相当額）	(△ 25, 257, 843)	(△ 23, 131, 542)
分配準備積立金	635, 701, 052	500, 056, 602
繰越損益金	—	△ 48, 718, 955

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第32期	第33期
（a）経費控除後の配当等収益	4, 425, 937円	0円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	54, 029, 121	0
（c）収益調整金	111, 566, 640	126, 570, 057
（d）分配準備積立金	689, 277, 611	610, 569, 955
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	859, 299, 309	737, 140, 012
（f）分配金	112, 031, 617	110, 513, 353
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	747, 267, 692	626, 626, 659
（h）受益権総口数	2, 240, 632, 353口	2, 210, 267, 067口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第32期	第33期
	500円	500円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクト・コース

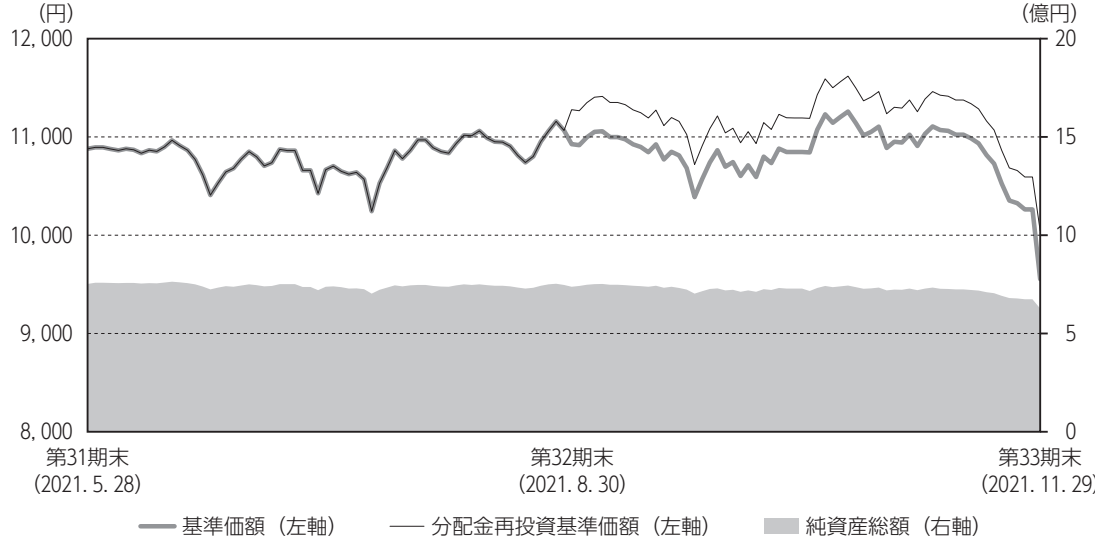
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末（2019年８月28日）	7,405	140	△ 3.6	17,430	1.5	—	98.2	799
25期末（2019年11月28日）	8,689	120	19.0	19,159	9.9	—	98.8	896
26期末（2020年２月28日）	8,106	80	△ 5.8	18,096	△ 5.5	—	97.7	799
27期末（2020年５月28日）	7,091	120	△ 11.0	18,445	1.9	—	98.2	679
28期末（2020年８月28日）	7,737	80	10.2	21,169	14.8	—	99.0	733
29期末（2020年11月30日）	8,575	120	12.4	22,103	4.4	—	99.0	672
30期末（2021年３月１日）	9,635	300	15.9	23,153	4.7	—	98.9	720
31期末（2021年５月28日）	10,880	350	16.6	25,521	10.2	—	99.0	752
32期末（2021年８月30日）	10,927	350	3.6	27,395	7.3	—	98.5	737
33期末（2021年11月29日）	9,553	180	△ 10.9	27,913	1.9	—	96.6	627

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第32期首：10,880円
第33期末：　9,553円（既払分配金530円）
騰　落　率：△7.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況は上昇しましたが、保有株式が軟調に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第32期	(期首)2021年5月28日	10,880	—	25,521	—	—	99.0
	5月末	10,893	0.1	25,540	0.1	—	98.3
	6月末	10,705	△ 1.6	26,073	2.2	—	99.0
	7月末	10,970	0.8	26,847	5.2	—	98.9
	(期末)2021年8月30日	11,277	3.6	27,395	7.3	—	98.5
第33期	(期首)2021年8月30日	10,927	—	27,395	—	—	98.5
	8月末	10,917	△ 0.1	27,513	0.4	—	97.8
	9月末	10,745	△ 1.7	26,484	△ 3.3	—	99.1
	10月末	10,951	0.2	27,924	1.9	—	98.9
	(期末)2021年11月29日	9,733	△ 10.9	27,913	1.9	—	96.6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年９月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、９月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、ＣＰＩ（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期における選定通貨の値動きは、先進国を中心に株価が堅調に推移するなど、市場のリスク選好度が強まったことで、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、中国・人民元は対円で上昇（円安）しました。また、ブラジル・レアルは対円でおおむね横ばいとなりました。一方で、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、南アフリカ・ランドは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 5. 29 ～ 2021. 11. 29）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

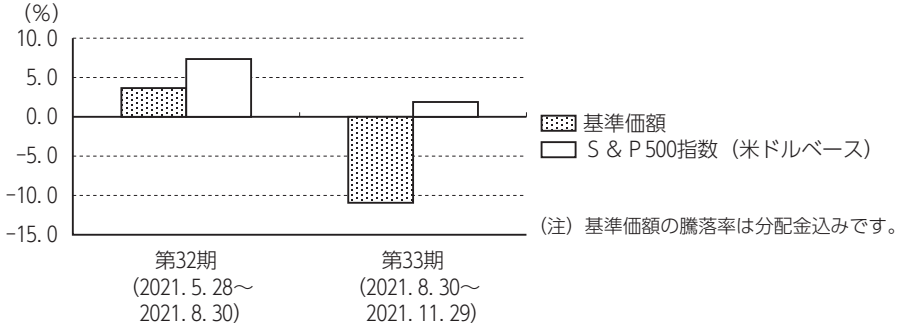
企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、FISERV（情報技術）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			第32期 2021年５月29日 ～2021年８月30日	第33期 2021年８月31日 ～2021年11月29日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**350**	**180**
	対基準価額比率	（％）	3.10	1.85
	当期の収益	（円）	204	180
	当期の収益以外	（円）	145	―
翌期繰越分配対象額		（円）	1,973	1,988

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第32期		第33期	
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓	204.16円	✓	194.61円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益		0.00		0.00
（ｃ）収益調整金		290.37		303.47
（ｄ）分配準備積立金	✓	1,828.89		1,669.96
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）		2,323.43		2,168.04
（ｆ）分配金		350.00		180.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）		1,973.43		1,988.04

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

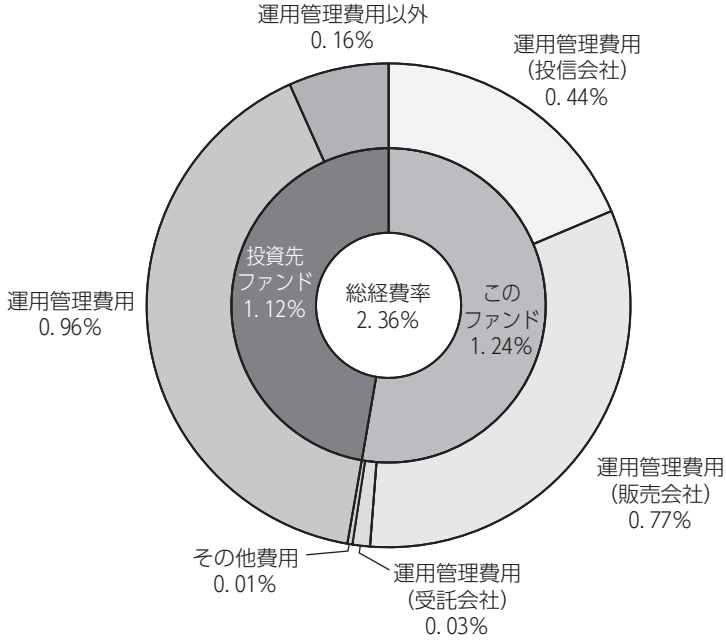
項　　目	第32期～第33期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	68円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 826円です。**
(投 信 会 社)	(24)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	68	0. 631	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.36％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.36%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.96%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

決　算　期	第　32　期　～　第　33　期			
	買　　付		売　　付	
	□　数	金　額	□　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	399. 22572	43, 104	976. 26429	104, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2021年５月29日から2021年11月29日まで）

第　32　期　～　第　33　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	□　数	金　額	平均単価	銘　　柄	□　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	118. 35005	13, 000	109	US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	976. 26429	104, 000	106

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　33　期　末		
	□　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	6, 335. 47778	606, 406	96. 6

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第31期末	第　33　期　末	
	□　数	□　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	505	505	506

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項　　目	第　33　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	606, 406	94. 5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	506	0. 1
コール・ローン等、その他	34, 617	5. 4
投資信託財産総額	641, 530	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年８月30日）、（2021年11月29日）現在

項　　目	第32期末	第33期末
（A）資産	**763, 680, 840円**	**641, 530, 272円**
コール・ローン等	36, 427, 418	34, 617, 427
投資信託受益証券（評価額）	726, 747, 118	606, 406, 591
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	506, 304	506, 254
（B）負債	**26, 010, 557**	**14, 086, 928**
未払収益分配金	23, 627, 965	11, 822, 906
未払信託報酬	2, 366, 861	2, 233, 447
その他未払費用	15, 731	30, 575
（C）純資産総額（A－B）	**737, 670, 283**	**627, 443, 344**
元本	675, 084, 741	656, 828, 151
次期繰越損益金	62, 585, 542	△ 29, 384, 807
（D）受益権総口数	**675, 084, 741口**	**656, 828, 151口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10, 927円**	**9, 553円**

＊第31期末における元本額は691, 322, 009円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は10, 856, 597円、同解約元本額は45, 350, 455円です。
＊第33期末の計算口数当りの純資産額は9, 553円です。
＊第33期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は29, 384, 807円です。

■損益の状況

第32期　自 2021年５月29日　至 2021年８月30日
第33期　自 2021年８月31日　至 2021年11月29日

項　　目	第32期	第33期
（A）配当等収益	**15, 007, 507円**	**15, 030, 989円**
受取配当金	15, 008, 483	15, 031, 742
受取利息	29	25
支払利息	△ 1, 005	△ 778
（B）有価証券売買損益	**14, 183, 469**	**△ 91, 228, 316**
売買益	14, 454, 651	255, 195
売買損	△ 271, 182	△ 91, 483, 511
（C）信託報酬等	**△ 2, 382, 592**	**△ 2, 248, 291**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**26, 808, 384**	**△ 78, 445, 618**
（E）前期繰越損益金	**66, 388, 685**	**67, 161, 008**
（F）追加信託差損益金	**△ 6, 983, 562**	**△ 6, 277, 291**
（配当等相当額）	(19, 602, 822)	(19, 933, 022)
（売買損益相当額）	(△ 26, 586, 384)	(△ 26, 210, 313)
（G）合計（D＋E＋F）	**86, 213, 507**	**△ 17, 561, 901**
（H）収益分配金	**△ 23, 627, 965**	**△ 11, 822, 906**
次期繰越損益金（G＋H）	**62, 585, 542**	**△ 29, 384, 807**
追加信託差損益金	△ 6, 983, 562	△ 6, 277, 291
（配当等相当額）	(19, 602, 822)	(19, 933, 022)
（売買損益相当額）	(△ 26, 586, 384)	(△ 26, 210, 313)
分配準備積立金	113, 620, 708	110, 647, 554
繰越損益金	△ 44, 051, 604	△ 133, 755, 070

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第32期	第33期
（a）経費控除後の配当等収益	13, 782, 573円	12, 782, 670円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	19, 602, 822	19, 933, 022
（d）分配準備積立金	123, 466, 100	109, 687, 790
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	156, 851, 495	142, 403, 482
（f）分配金	23, 627, 965	11, 822, 906
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	133, 223, 530	130, 580, 576
（h）受益権総口数	675, 084, 741口	656, 828, 151口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第32期	第33期
	350円	180円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／ 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン　日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年11月29日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表

2021年５月28日

資産		
投資資産の評価額（簿価 $28, 845, 817）	$	41, 067, 857
現金		11
外国為替先渡取引による評価益		80, 808
未収：		
配当		11, 100
資産合計		41, 159, 776
負債		
外国為替先渡取引による評価損		98, 460
未払：		
償還済み受益証券		27, 279
専門家報酬		53, 126
運用会社報酬		20, 519
受託会社報酬		3, 895
会計および管理会社報酬		3, 205
保管会社報酬		3, 141
登録料		2, 038
名義書換代理人報酬		1, 117
為替運用会社報酬		1, 029
為替取引執行会社報酬		198
その他負債		66
負債合計		214, 073
純資産	$	40, 945, 703
豪ドル・クラス	$	1, 285, 163
ブラジル・レアル・クラス		1, 971, 734
通貨セレクト・クラス		6, 780, 587
日本円・クラス		2, 837, 094
米ドル・クラス		28, 071, 125
	$	40, 945, 703

発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		721, 995
ブラジル・レアル・クラス		2, 257, 840
通貨セレクト・クラス		6, 912, 516
日本円・クラス		1, 383, 969
米ドル・クラス		11, 814, 479
受益証券１口当り純資産額		
豪ドル・クラス	$	1. 780
ブラジル・レアル・クラス	$	0. 873
通貨セレクト・クラス	$	0. 981
日本円・クラス	$	2. 050
米ドル・クラス	$	2. 376

損益計算書

2021年５月28日に終了した年度

投資収益		
配当収益（源泉税 $87, 383控除後）	$	203, 893
その他収益		300
投資収益合計		204, 193
費用		
運用会社報酬		224, 238
専門家報酬		54, 329
会計および管理会社報酬		44, 394
保管会社報酬		22, 507
受託会社報酬		15, 704
為替運用会社報酬		11, 560
名義書換代理人報酬		6, 880
登録料		5, 396
為替取引執行会社報酬		1, 088
費用合計		386, 096
投資損失		(181, 903)
実現損益および評価損益の変動：		
実現損益：		
証券投資		10, 074, 719
外国為替取引および外国為替先渡取引		741, 488
実現利益		10, 816, 207
評価損益の変動の内訳：		
証券投資		8, 888, 700
外国為替換算および外国為替先渡取引		(271, 960)
評価損益の変動		8, 616, 740
実現損益および評価損益の変動		19, 432, 947
運用による純資産の増加	$	19, 251, 044

（米ドル建て）

投資明細表

2021年５月28日

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
	普通株（92.6%）		
	英国（3.1%）		
	ヘルスケア製品（3.1%）		
15,194	LivaNova PLC		$ 1,269,307
	英国合計（簿価 $1,122,102）		1,269,307
	米国（89.5%）		
	自動車部品（4.0%）		
8,425	Lear Corp.		1,629,058
	銀行（6.7%）		
34,415	Bank of America Corp.		1,458,852
16,110	Citigroup, Inc.		1,268,018
			2,726,870
	飲料（6.7%）		
73,885	Keurig Dr Pepper, Inc.		2,730,789
	商業サービス（7.7%）		
8,350	Automatic Data Processing, Inc.		1,636,767
12,585	ManpowerGroup, Inc.		1,522,659
			3,159,426
	総合金融サービス（3.9%）		
21,780	Charles Schwab Corp.		1,608,453
	食品（3.3%）		
11,715	Post Holdings, Inc.		1,353,434
	ヘルスケアサービス（4.4%）		
8,377	HCA Healthcare, Inc.		1,799,296
	保険（6.8%）		
33,620	American International Group, Inc.		1,776,481
90,430	GoHealth, Inc. Class A		1,028,189
			2,804,670
	インターネット（20.3%）		
1,575	Alphabet, Inc. Class C		3,798,207
652	Booking Holdings, Inc.		1,539,731
5,645	Facebook, Inc. Class A		1,855,681
2,255	Netflix, Inc.		1,133,836
			8,327,455
	宿泊施設（2.8%）		
9,069	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		1,136,074
	メディア（7.0%）		
2,889	Charter Communications, Inc. Class A		2,006,497
15,255	Comcast Corp. Class A		874,722
			2,881,219
	石油・ガスサービス（0.7%）		
17,220	NOV, Inc.		277,586
	不動産（4.0%）		
18,450	CBRE Group, Inc. Class A		1,619,541

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
	ソフトウェア（11.2%）		
27,300	CDK Global, Inc.		1,428,882
19,915	Fiserv, Inc.		2,294,208
3,825	Workday, Inc. Class A		874,854
			4,597,944
	米国合計（簿価 $24,576,980）		36,651,815
	普通株合計（簿価　$25,699,082）		**$ 37,921,122**
元本	**短期運用（7.7%）**		
	スウェーデン（7.7%）		
	定期預金　（7.7%）		
$3,146,735	Skandinaviska Enskilda Banken 0.01% due 06/01/21		$ 3,146,735
			3,146,735
	スウェーデン合計（簿価 $3,146,735）		3,146,735
	短期運用合計（簿価 $3,146,735）		**3,146,735**
	投資総額（簿価 $28,845,817）	**100.3%**	**$ 41,067,857**
	現金および他の資産を超過する負債	**(0.3)%**	**(122,154)**
	純資産	**100.0%**	**$ 40,945,703**

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2021年5月28日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
AUD	Citibank N. A.	1,650,860	06/10/2021	USD	1,289,726	$ –	$ (16,963)	$ (16,963)

2021年5月28日現在のブラジル・レアル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
BRL	Citibank N. A.	9,954,436	06/10/2021	USD	1,892,156	12,904	–	12,904
BRL	Citibank N. A.	532,364	06/10/2021	USD	101,885	–	(2)	(2)
						$ 12,904	$ (2)	$ 12,902

2021年5月28日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
CNY	Citibank N. A.	7,572,521	06/10/2021	USD	1,174,495	13,470	–	13,470
IDR	Citibank N. A.	16,226,216,353	06/10/2021	USD	1,142,494	–	(8,951)	(8,951)
INR	Citibank N. A.	80,310,472	06/10/2021	USD	1,090,567	16,885	–	16,885
RUB	Citibank N. A.	79,431,148	06/10/2021	USD	1,070,212	12,942	–	12,942
TRY	Citibank N. A.	11,944,383	06/10/2021	USD	1,424,156	–	(36,420)	(36,420)
ZAR	Citibank N. A.	13,661,013	06/10/2021	USD	965,272	24,607	–	24,607
						$ 67,904	$ (45,371)	$ 22,533

2021年５月28日現在の日本円・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＪＰＹ	Citibank N. A.	309, 223, 291	06/10/2021	ＵＳＤ	2, 848, 040	$ –	$ (36, 124)	$ (36, 124)

通貨の略称

ＡＵＤ	-	豪ドル
ＢＲＬ	-	ブラジル・レアル
ＣＮＹ	-	中国・人民元
ＩＤＲ	-	インドネシア・ルピア
ＩＮＲ	-	インド・ルピー
ＪＰＹ	-	日本・円
ＲＵＢ	-	ロシア・ルーブル
ＴＲＹ	-	トルコ・リラ
ＵＳＤ	-	米ドル
ＺＡＲ	-	南アフリカ・ランド

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2020年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第33期の決算日（2021年11月29日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年５月29日～2021年11月29日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年11月29日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第11期（決算日　2020年12月９日）

（作成対象期間　2019年12月10日～2020年12月９日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

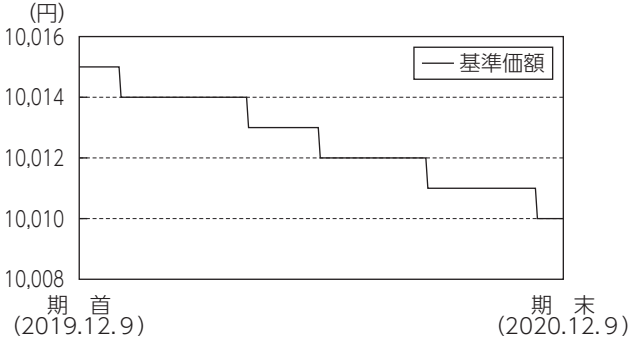
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2019年12月9日	10,015	－	－
12月末	10,015	0.0	－
2020年 1 月末	10,014	△0.0	－
2 月末	10,014	△0.0	－
3 月末	10,014	△0.0	－
4 月末	10,013	△0.0	－
5 月末	10,013	△0.0	－
6 月末	10,012	△0.0	－
7 月末	10,012	△0.0	－
8 月末	10,011	△0.0	－
9 月末	10,011	△0.0	－
10月末	10,011	△0.0	－
11月末	10,010	△0.0	－
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	－

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注３) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円　期末：10,010円　騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（３カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■１万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	0
(その他)	(0)
合　計	0

(注１) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注２) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月９日現在

項　目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月９日現在

項　　目	当　期　末
(A) 資産	**88,460,615,301円**
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	**50,000,000**
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	**88,410,615,301**
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	**88,319,921,795口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,010円**

＊期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　－インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）998円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）3,985円、iFreeレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500　1,249,412,852円、iFreeレバレッジ　ＮＡＳＤＡＱ100　11,006,295,149円、米国４資産リスク分散ファンド（年２回決算型）689,912円、クリーンテック株式ファンド（資産成長型）998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（毎月決算／予想分配金提示型）999円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10　997円、先進国トータルリターン戦略ファンド（リスク抑制型／適格機関投資家専用）6,988,339,549円、ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド（金利トレンド判断付き／適格機関投資家専用）179,433,743円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－5,091,608円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）595,106円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）987,373円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）494,581円、ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－100,588円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）1,091,429円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）315,004円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース505,900円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期　自2019年12月10日　至2020年12月９日

項　　目	当　　期
(A) 配当等収益	**△ 34,974,173円**
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	**△ 1,522,123**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△ 36,496,296**
(D) 前期繰越損益金	**156,051,230**
(E) 解約差損益金	**△161,476,434**
(F) 追加信託差損益金	**132,615,006**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**90,693,506**
次期繰越損益金(G)	**90,693,506**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。